

バンブーレボリューション

- Bamboo Revolution -



現在では、身の回りの様々な日用品が工場で大量生産されるプラスチック製品に置き換わり、竹や木で作られた手作りのものは、贅沢嗜好品のような位置付けとなってしまいました。プラスチック製品が自然に還るには何年もの時間がかかるため、大量のプラスチック製品のゴミが今、自然環境への大きな負担となっています。

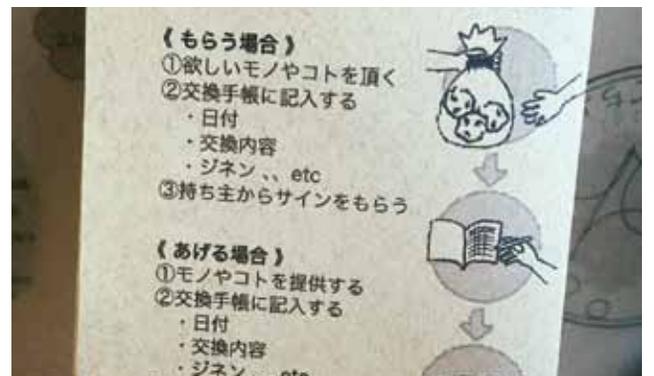
日本では古来より竹を暮らしに活かした文化を育てて来ました。その歴史は古くは縄文時代から続くとも言われています。籠、ザル、箸、笠、蓑、竹皮草履、熊手、花器、柄杓、茶杓、竹垣、竹子舞、魚籠、虫籠、養蚕籠、弓、尺八、笙、門松、七夕飾り、などなど、竹を利用した暮らしの道具は、枚挙にいとまがありません。

栃木県の大田原市には、竹を暮らしに活かす文化を現代に繋いで来た有名な竹工芸があります。その竹工芸に内弟子として3年修行して来た五月女さんを中心に、トランジションタウン栃の木では、竹を日常の暮らしで活かしていく技術を共有し、仲間と共に竹で出来た手作りの日用品を楽しむ文化を育てています。

また、コットンレボリューションの動きとも連動して、糸を紡ぐチャルカ（糸車）を竹から作ったエンジニアの小栗さんに指導を頂きながら、自分たちで育てた綿から、自分たちで作った「竹チャルカ」で糸を作る研究も進めています。

交換手帳じねん

- 信頼資本という考え方 -



交換手帳じねん（自然）は、全国のトランジションタウン運動の拠点に広がりつつある通帳型地域通貨です。それぞれの地域内の事務局で発行される通帳にいくらでなにを交換したかを記帳します。

交換にかかるポイントは、いくらでもよく、交換の当事者間でその時々決定することができます。ポイントがマイナスになっても利息がつかず、いくらでもポイントを発行できるので、ポイントがなくて、サービスを受けられないということはありません。

これは、信頼資本という考え方で、コミュニティに対する信頼を担保にして、物を交換することができる仕組みです。

